

8 參考資料

8 参考資料

(1) 土壤条件の維持すべき目標値

(昭和53年京都農研作成、昭和58年、平成1)

診断項目	単位	土壤の種類	目標値			
			水田	普通畑	茶園	果樹園
表(作)土の厚さ	cm	一般土壤	15~20	20~25	25以上	30以上
有効土層の深さ	cm	一般土壤	50以上	60以上 ⁵⁾	70以上	100以上
心土のち密度 ¹⁾	mm	一般土壤	15~20	20以下	20以下	20以下
表(作)土の全孔隙量	%	一般土壤	—	60%以上	60%以上	60%以上
心土の粗孔隙量	%	一般土壤	—	10%以上	10%以上	10%以上
地下水位	cm	一般土壤	50以下	60以下 ⁵⁾	70以下	80以下
表層50cmの透水係数	cm/sec	一般土壤	$10^{-4} \sim 10^{-5}$	10^{-4} 以上	$10^{-2} \sim 10^{-4}$	$10^{-2} \sim 10^{-4}$
減水深	mm/day	一般土壤	15~25	—	—	—
表(作)土の有効水分	mm	一般土壤	—	50以上	50以上	50以上
pH (H ₂ O) ⁸⁾		一般土壤	5.5~6.5	6.0~6.5	4.5~5.0	5.0~6.5
pH (KCl) ⁸⁾		一般土壤	5.0~	5.5~6.0	4.0~4.5	4.5~6.0
電気伝導度 ⁶⁾ (作付け前)	mS/cm	一般土壤	—	0.2~0.9	—	—
		砂質土壤	—	0.1~0.7	—	—
腐植 ²⁾	%	一般土壤	3~5	3~5	3~5	3~5
		砂質土壤	2以上	2以上	2以上	2以上
陽イオン交換容量(CEC)	me/100g	一般土壤	13以上	13以上	13以上	13以上
		砂質土壤	7~10	7~10	7~10	7~10
交換性石灰 ⁷⁾	CaO mg/100g	一般土壤	200以上	200以上	100~150	150~200
交換性苦土 ⁷⁾	MgO mg/100g	一般土壤	25以上	25~50	20以上	30以上
交換性加里 ⁷⁾	K ₂ Omg/100g	一般土壤	15以上	15~35	15~35	15~35
石灰/苦土比	当量比	一般土壤	2~6	2~6	2~6	2~6
苦土/加里比	当量比	一般土壤	2~6	2~6	2~6	2~6
塩基飽和度	%	一般土壤	60~80	60~90	40~50	50~80
石灰飽和度	%	一般土壤	50~60	50~70	30~40	50~60
苦土飽和度	%	一般土壤	10~20	10~20	8~10	10~20
有効態リン酸 ^{3) 6)}	P ₂ O ₅ mg/100g	一般土壤	10以上	10~50	10~30	10~30
有効態ケイ酸 ⁴⁾	SiO ₂ mg/100g	一般土壤	15以上	—	—	—
遊離酸化鉄	Fe ₂ O ₃ mg/100g	一般土壤	1.5以上	—	—	—

- 注) 1) 「心土」のち密度は、山中式硬度計の読みを示す。
 2) 腐植含量の基準値は、黒ボク土を除く。
 3) 有効態リン酸は、トルオーグ法による。
 4) 有効態ケイ酸は、pH4酢酸緩衝液浸出法による。
 5) 長根菜類では、有効土層は80cm以上、地下水位80cm以下が望ましい。
 6) 作物や樹種により好適条件が異なるので注意する。
 7) 交換性塩基含量は、陽イオン交換容量が13以上の場合の目標値である。